

認知症になって「苦手なこと」が出てきて、も、ちょっとした工夫で乗り越えられるケースがあります。「でさうかぎり自分でやったい」という思いや、「こんなものがあつたら便利」という当事者の視点を生かした商品が生まれています。

(沼尻知子)

「やわらかくて足を入れやすい。色もすてき」

名古屋市中区の認知症対応型デイサービス「とんとO HANA（オハナ）」。週に3回、ここに通う近藤葉子さん（62）が、試作品の靴下をはき、笑顔で話した。

近藤さんは認知症の人の声に耳を傾け、新しい靴下の開発に挑んだのは、衣料品メーカー「大潤」（同市北区）。後藤裕一社長（51）が、北区の認知症の人々に優しい街づくりの活動に参加するようにけだった。

「靴下をうまくはけなくなつて外出が減つた」という家族の声を聞き、認知症の人が色々形の違いを見分けるのが

できる方法一緒に考えて

靴下の商品開発に参加した近藤葉子さんは、愛知県の「認知症希望大使」として活動しています。思いを聞きました。



10年ほど前、水道メーターの検針の仕事をしていた時に、約束の時間を忘れたり、メーターの場所がわからなくなったりすることがあります。若年性認知症と診断されました。症状は、10人いれば10人、それぞれ違います。色々な人がいることを伝えたくて、希望大使になりました。

A TM（現金自動預け払い機）で暗証番号を間違えたり、友達と会う約束を忘れてしまったり、失敗はいっぱい。地下鉄を間違えて、目的地にたどり着けないこともあります。でも、「自分でやること」を奪わないでほしい。

1回の失敗で「やっては駄目」となると、A TMの使い方も地下鉄の乗り方とも忘れてしまうでしょう。落ち込むこともあります。けれど、「へケ・セラ・セラ」で、どうしたらうまくできるのか、方法を一緒に考えてくれたらうれしいです。

やりたいことをできる環境は、生きるためにかかわります。この靴下があることで、今までではなかった人がはくことができたら、「次はあれをやってみたい」と挑戦する力になるはずです。

難しくなり、靴下のはき口がわからなかつたり、かかとの部分を合わせられなくなつたりすることがあると知った。

「自分たちでできることがあるのでは」と誰でもはきやすい靴下を作る

ことにした。どの向きでいいとも「失敗」にならないように、かかと部分をなくした簡状

の形を考案した。

ただ、近藤さんに試してもらつて、「はき口がわからなくなつた」といふ。「もっと大きく開く」といふ。幅などの改良を重ね、弱い力でも大きく開くようにした。

とんとO HANAの管理者

で作業療法士の伊藤篤史さん

は、はき口を手全体と

は違う色の太いラインで縁取り

たほか、編み方や、ゴムの

幅などの改良を重ね、弱い力でも大きく開くようにした。

ところが、編み方や、ゴムの

幅などの改良を重ね、弱い力でも大きく開くようにした。

(47)は「つまむくはれない」と自信をなくして、自分ではくのをやめてしまつることもある。「自分でできる」と思える時間を使はすことができれば、外出を楽しむ気持ちにもつながるはず」と話す。

後藤さんは大事にしているのは、特別扱いされるのでなく普通に暮らしたい、といふ認知症の人たちの声だ。

「おしゃれを楽しむ」とも生活の一部」と、色やデザインにもこだわった。

ただ、柄を入れると糸の編み込みが複雑になり、生地の伸びが悪くなる。それでも、「無地しか選択肢がないといふのはさみしい」と、糸の編み方などを試行錯誤し、ようやく課題を乗り越えた。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニークス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

後藤さんは「認知症の人に使いやすいなら、誰にとっても使いやすいはず。今後は、下着の開発なども進めたい」と意欲を燃やす。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

ただ、柄を入れると糸の編み込みが複雑になり、生地の伸びが悪くなる。それでも、「無地しか選択肢がないといふのはさみしい」と、糸の編み方などを試行錯誤し、ようやく課題を乗り越えた。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

後藤さんは「認知症の人に使いやすいなら、誰にとっても使いやすいはず。今後は、下着の開発なども進めたい」と意欲を燃やす。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

ただ、柄を入れると糸の編み込みが複雑になり、生地の伸びが悪くなる。それでも、「無地しか選択肢がないといふのはさみしい」と、糸の編み方などを試行錯誤し、ようやく課題を乗り越えた。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

後藤さんは「認知症の人に使いやすいなら、誰にとっても使いやすいはず。今後は、下着の開発なども進めたい」と意欲を燃やす。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

ただ、柄を入れると糸の編み込みが複雑になり、生地の伸びが悪くなる。それでも、「無地しか選択肢がないといふのはさみしい」と、糸の編み方などを試行錯誤し、ようやく課題を乗り越えた。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

後藤さんは「認知症の人に使いやすいなら、誰にとっても使いやすいはず。今後は、下着の開発なども進めたい」と意欲を燃やす。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

後藤さんは「認知症の人に使いやすいなら、誰にとっても使いやすいはず。今後は、下着の開発なども進めたい」と意欲を燃やす。

出来上がった靴下は「Hicks（ヒュニーカス）」という商品名で5月末から販売を予定している。

注意したりしがちです。でも、それが本人の不安を大きし、周囲に対する悪い感情が残ることにつながって、「B P S D（行動・心理症状）」が生じる場合もあります。暴言・暴力といった形で家族に怒りをぶつけたり、大事な物を誰

は、B P S Dの予防や改善にもつながるといいます。

「残された力」発揮

記憶障害があつても、若い頃に身につけた技術や知識は失われな

記憶障害 本人の尊厳配慮

認知症の症状の一つに、「記憶障害」があります。さっさと食事をしたのに「まだ食べていない」と

し、認知症の記憶障害では、「食事をしたことなど、出来事や体験そのものが抜け落ち、本人にとって

認知症による記憶障害

- 例・食事を忘れる
- 同じことを何度も尋ねる
- どこかにしまった財布がみつからない

覚えられない、思い出せないのは…

「体験していない」

